

2017年

231号

8月23日(水)



全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

越谷支部第25回定期大会

大会議案は全員一致で可決されました

7月31日、中央市民会館の会議室に30名の組合員が集まり第25回定期大会が開催されました。大会は山本副支部長の開会の挨拶の中でこの一年間に亡くなられた4名の組合員の方々のご冥福を祈り黙祷。議長に12班の高木常雄氏を選出し議事に入りしました。広瀬資格審査委員から委任状を含め、組合員の過半数の参加で大会が成立したことの報告がありました。吉田健治支部長挨拶の後、来賓として出席いただいた宇佐美県本部執行委員長、山田越労連議長、民主市政の会から小川事務局長、自治みらいの辻浩司幹事長、山田共産党市議団長の挨拶があり、高橋越谷市長のメッセージが紹介されました。議事に入り五十嵐書記長から2016年度の活動報告があり、誕生会を兼ねた支部行事、日帰りバス旅行、シテイウォーク、学習会等各種の活動の状況等について報告がありました。報告が完了した後に会計担当の樋口書記



2017年度の新役員

- 支部長 吉田 健治
副支部長 足立 秀機
副支部長 森山 勝司
副支部長 山本 英郎
書記長 五十嵐 光範
書記次長 樋口 昭男
書記次長 広瀬 久雄
書記次長 吉田 正美
書記次長 和田 幸雄
執行委員 川原 利雪
木暮 昂
高木 常雄
松本 久子
会計監査 小口 伊東

皆さん、どうぞよろしく
お願いします。

1年間全力を尽くします

支部長 吉田健治

新しい役員が左表の通り選出されました。足立さんが副支部長に、広瀬さんが書記長に加わり書記局体制が強化されました。さらに高木さん、川原さんを執行委員に迎え支部の活性化に、森さんを編集委員に迎え機関紙発行の大きな力になります。支部の活動では誕生会の4大行事、クラブ活動、ボランティア、学習会を一回り大きくするとともに、目に見える班活動を推進する大きな原動力になります。勿論組合員みなさんの協力があってのことです。今年はまだみなで行動、みんなで討議を柱にします。年金切り下げをゆるさない活動に全力をつくします。役員はその先頭に立って運動します。

点晴

「あなたはどこの国の総理ですか」

核兵器禁止条約は人類の希望

7月7日、国連は核兵器を違法化する核兵器禁止条約を採択しました。124カ国が参加し、122カ国が賛成しました。国連加盟193ヶ国の63%にあたります。条約採択は、日本の被爆者をはじめ「核兵器のない世界」を求める世界各国と市民社会の、永年にわたる共同のとり組みが結実した歴史的なできごとです。日本政府は、核保有国が参加しない会議は有効性がないとの理由で国連会議に参加しませんでした。

8月6日広島で、9日には長崎で今年も核兵器廃絶を願う平和祈念式典が開かれましたが、両式典とも条約を大きく歓迎する集会となりました。同時に、条約に背をむける日本政府にたいして、厳しい批判が表明されました。

田上富久長崎市長は「条約の交渉会議に参加さえしない(政府の)姿勢を被爆地は到底理解できない」と述べました。首相に面談した長崎の被爆者、川野浩一さんは「あなたはどこの国の総理ですか。私たちを見捨てるのですか」と強くせまりました。

こうした核兵器の禁止・廃絶にまともに向き合おうとしない日本政府にたいする深い怒りは、国民の中に大きく広がっていると思います。

8月2日の朝日新聞の「どう思いますか」というコーナーで、条約をめぐる読者の意見が紹介されました。「北朝鮮などが条約にそっぽをむいているもどで、我が国の一方的な条約への加盟には反対」との投稿にたいして、意見表明が掲載された4人はそろって条約の有効性を述べ、条約の積極的な推進を求めました。

こうした一連の動きの中に、日本と世界の未来にたいする大きな希望を実感します。それは条約に示された核兵器の完全廃棄をめざす世界各国の人々の高い理性と強い決意、さらに条約をしつかり受け止めた人々たちに対する尊敬でもあるのです。(吉田正美)